

ふじみ野

No. 80

R8. 2. 1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

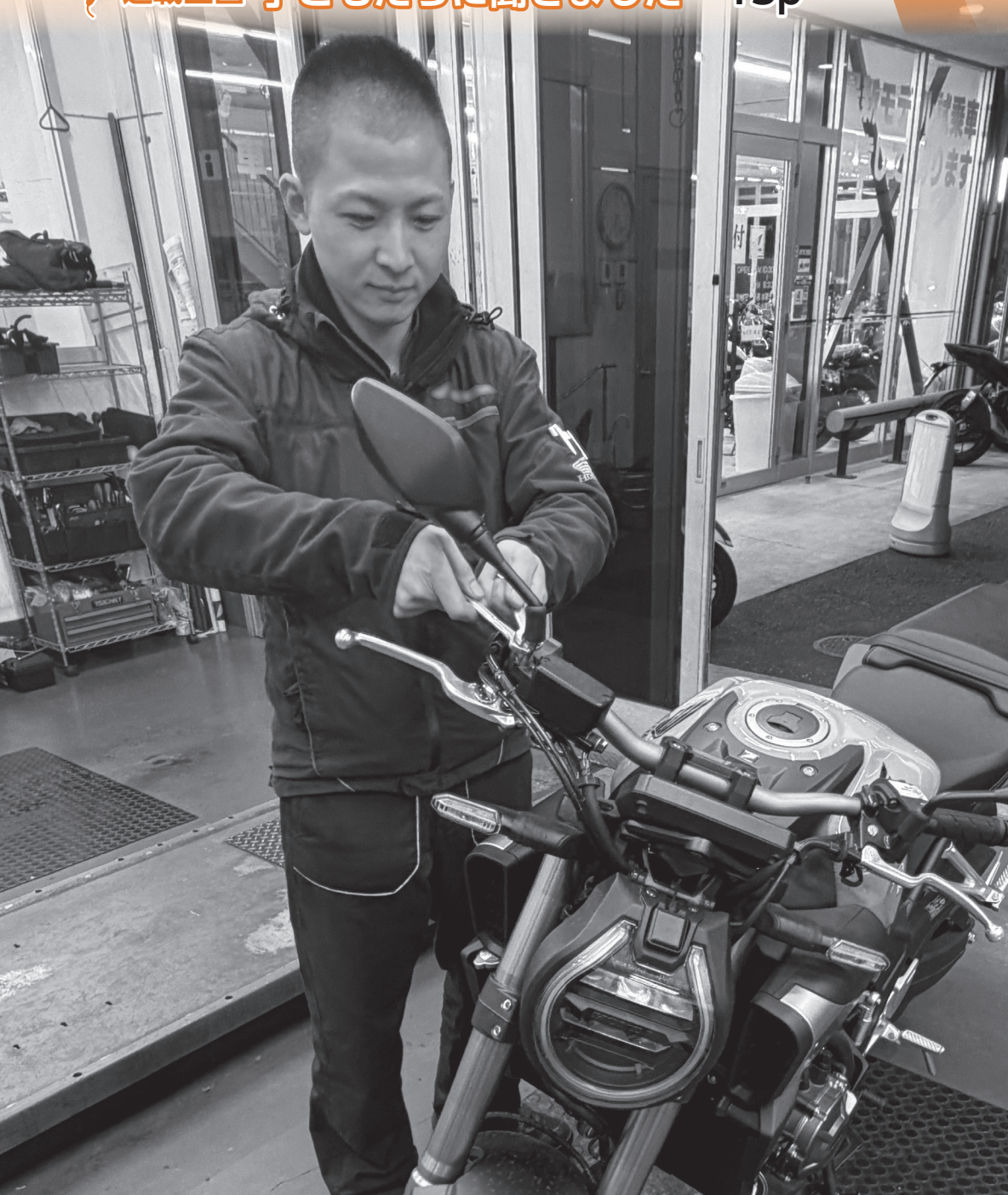
CONTENTS

医療・福祉、防災の改善で
暮らしを豊かに 2p

提出議案等と審議結果 6p

市政を問う！一般質問 14人が政策論議 8p

連載企画 子どもたちに聞きました 13p



働く人シリーズ ⑤9 バイク屋さん

バイクの販売・修理・車検・保険等の手続きを行います。
暮らしの交通手段として、確かな整備技術と丁寧な対話で、
安全と安心を届けています。顔の見える関係を大切に、地
域に根ざし続ける頼れる存在です。

(裏表紙に関連記事を掲載)

令和7年第4回定例会では、こども誰でも通園制度関係条例、市立大井東中学校校舎大規模改造工事請負変更契約の締結、その他一般会計補正予算（第4号）など市長提案の議案17件を

可決しました。
そのほか買い物クーポン券の支給を求める請願を不採択、議員提案の市公文書管理条例等、議案4件が否決されました。

議案審議

本会議での質疑をまとめています。

医療・福祉、防災の改善で暮らしを豊かに

令和7年度 一般会計補正予算（第4号）

幼児教育・保育施設 運営支援事業

問 保育所等業務効率化推進事業（保育所におけるICT化推進事業）とは何か。

答 保育士の業務負担を軽減するために、必要なシステムの導入や通訳・翻訳機器の導入などを行う民間保育所等に対する補助事業である。

問 保育環境改善等事業（安全対策事業）では

どのような対策を行うのか。

答 睡眠中の事故防止対策、ICTを活用した子どもの見守り対策、性被害の防止対策に必要な機器の導入などを行う民間保育所等に対する補助事業を行う。

問 対象となる施設数の見込みは。

答 ICT化推進事業が7施設、安全対策事業が5施設の見込みである。

带状疱疹予防接種（B類疾病）事業

問 現在の接種者数と接

も安定的に学びが実現できると考えている。

市第2運動公園体育館及び武道館改修事業

問 改修ではどのような工事を行うのか。

答 床や壁の改修、空調の設置、電気設備の改修、発電設備の設置などを行う。

問 今後の工事スケジュールは。

答 令和7年度に契約を行い、令和8年10月から令和9年9月末まで工事を進める。総合体育館の休館期間と重ならないよう調整する。

上福岡駅東口駅前広場整備の進捗

問 上福岡駅東口駅前広場整備の推進にあたり、市と県土地開発公社はどのような役割分担で取り組むのか。

答 市と県土地開発公社が連携しながら、代替地確保と事業用地の取得を進めていく。

三井住友銀行上福岡支

店の移転により、代替地として活用できる土地が発生したことから、事業用地の未買収の地権者から銀行跡地に移転できるなら協力を検討できるとの意向が示されている。

そのため市は、銀行と地権者・店舗事業者など関係者との協議・説明を行い、公社は代替地の先行取得・銀行跡地の売買契約・建物解体・代替地売却などを担う予定である。

問 整備事業は令和10年度までの債務負担行為期間とされているが、今後のスケジュールは。

答 銀行跡地の取得から更地化、代替地引き渡しまで段階的に進め、令和10年度を目途に代替地等の売買の完了を予定している。

◆議案に対する質疑

青 藍 会 川 島 秀 男 議員
自由清進の会 坪 田 敏 孝 議員
公 明 党 川 畑 京 子 議員
日本共産党 床 井 紀 範 議員



種率はどの程度か。

答 令和7年4月から9月までで接種者は898人で、接種率は14・3%である。

問 今年度末の接種見込みは。

答 1552人の接種を見込み、接種率は約25%になる見通しである。

問 ワクチン接種の自己負担額はいくらか。

答 生ワクチンは8860円で自己負担は3千円、組換えワクチンは2万2060円で自己負担は1万3千円となる。

防災設備・施設管理 運営事業

問 新しい無線システムの特徴、改善点は。

答 クリアな音で屋外放送が聞きやすくなるほか、戸別受信機設置時の屋外アンテナが不要となり、防災ラジオ型戸別受信機の導入で聞こえにくさの解消、情報弱者への確実な情報伝達が可能となる。

問 災害時の利点は。

答 市送信局が使用できなくなった場合にも、県内他自治体280メガヘルツ帯の送信局を共同利

用することで放送が可能となる。

問 今後の工事スケジュールは。

答 令和8年3月に工事を開始し、既設設備と並行して稼働させながら整備を進め、令和8年10月頃に完了する予定である。

ルータ機器更新 （国際化・情報化教育推進事業）

問 ルータ更新が必要となった理由は。

答 児童・生徒のタブレット端末で、一斉に接続した時に通信速度の低下が見られた。そこで

ネットワークアクセスメント調査を実施した結果、ルータの性能不足が確認された。

問 整備内容は。

答 市内小・中学校10校に高性能ルータを導入し、千人程度までの同時接続が可能な環境の整備を予定している。

問 どのような効果が見込まれるか。

答 学力テストのCBT（端末を活用し、インターネット環境を利用した試験方式）化やデジタル教科書の導入など、ICT教育が更に進んだ場合で

条例制定
賛成多数で可決

4月から実施
こども誰でも通園制度

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

令和8年4月から、0歳6カ月から満3歳未満で保育所等に通っていない子どもを対象に、就労要件を問わず、月10時間まで保育所等を利用できることも誰でも通園制度が始まるための条例が提案されました。

問 実施施設の予定は。
答 上野台保育所、霞ヶ丘保育所の公立保育所2施設での実施を予定している。また、市内の認可保育所、認定こども園及び幼稚園に対して実施した実態意向調査によると、現時点では4施設が事業実施に向けた検討をしている状況である。

問 各施設の定員は。
答 保育室の面積や設備、配置できる保育士の人数等を鑑みて設定することになっている。一般型乳児等通園事業所では、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上3歳未満の幼児おおむね6人につき1人以上の従事者が必要で、半数以上を保育士とすることとしている。

問 実施スケジュールは。



契約の締結
全員賛成で可決

更に安全で
快適な学校へ

市立大井東中学校校舎大規模改造工事請負変更契約

大井東中学校の大規模改造工事において、生徒の安全で快適な学校生活を送るための工事内容の追加及び変更が必要となり、契約金額が増額となりました。

問 変更内容の概要は。
答 既存で空調設備が設置されていないが、利用頻度の高い教室に追加設置すること、及び既存空調設備を含めたものを職員室で集中管理ができるように集中管理システムの設定を行う。

また、工事中の定期点検により、給食用の小荷物昇降機において制御盤や巻上機、着床装置などの部品について修理交換の推奨があり交換する。

問 空調設備の集中管理システムの見直しについての詳細は。

答 設置時期によりメーカーが異なる3種のメーカーとなっている。集中管理システムの信号エラーにより動作しなくなったこともあったため、各メーカーによる調整を再度行うとともに、切り忘れの防止が職員室で全て把握でき、しているものを消せる仕様となる。



安全第一で改修工事

道路線の認定
全員賛成で可決

新設道路の認定と
安全対策

道路線の認定

新たに認定される市民憩の森付近の市道E-266号線について、交差点の安全対策や博物館開館後の交通への影響等が質疑されました。

問 認定される市道E-266号線の安全対策は。

答 開発事業者と市の交通担当で協議を行い、カーブミラー等は既に設置されている。今後は、市民から要望等が出た場合、必要な安全対策を実施していきたいと考えている。

問 バス通りと接続する交差点や通り抜けへの対応は。

答 南側には既にカーブミラーが設置されており、北側についても道路を挟んだ向かい側にカーブミラーを設置する予定である。

道路が使われ始めた後に危険な状況が見られた場合は、警察など関係機関と相談しながら必要な対応を行う。通り抜けについても、実情を踏まえて対応する。

問 北側の交差点の見通しや博物館開館後の交通対策は。

答 交差点は道路幅員に応じた基準に基づき隅切りを確保しており、場



委員会で現地確認

指定管理者の指定
全員賛成で可決

中高生の利用者が
過去最高

市立児童センターの指定管理者の指定

市立児童センターの指定管理者の指定に当たり、現事業者からの新規の事業提案などについて、どのように評価されているか質疑が行われました。

問 子育て支援拠点事業とは。

答 乳幼児、0歳から2歳の保護者を対象にした情報交換、交流、相談の場となるような事業を実施している。

問 小学生から中高校生の居場所づくり事業で地域連携を高く評価をされていたが、どのような事業であるのか。

答 小学生が提案し、季節ごとの工作や子どもオリンピック等を行っている。

中学生には、夕方の時間を確保してスポーツタイムという事業が実施されてきた。また、地域連携として、更生保護女性会の人々により、伝承遊びも取り入れている。

問 子どもの意見を反映することも運営委員会や中高生ボランティアの活動内容は。

答 こども運営委員会では10名程度の小学生が参加し、児童センターの



子どもの居場所

使用ルールについて、子どもたちに考えてもらい、解決していく場の提案がされている。

また、中高生のボランティアで貸し出し用エプロンを着けて、運営側に回って自己肯定感と自信をつけていく場の提案がされている。

総務・教育常任委員会視察調査報告

福祉・法律の専門家との連携で対応

総務・教育常任委員会では、11月4日及び5日の日程で不登校支援政策の取り組みについて視察研修を行いました。

大阪府大東市の不登校施策では、「学びへのアクセス100%」を基準として、学校・行政・民間が連携し、その児童・生徒に応じた支援の多層な選択肢が整備されており、専門家と連携して対応している。

奈良県大和郡山市不登校対策プログラムでは、誰一人取り残さない教育を目指し、専門家と連携して取り組みを実施しており、学びの多様化学校として、小・中学校の分教室「ASU」が開校されている。専門家の連携と配置等が今後の参考となった。



大和郡山市での視察の様子

市民・都市常任委員会視察調査報告

農業と水道を学ぶ



長岡市での視察の様子

市民・都市常任委員会では、11月10日及び11日の日程で、農業振興と上下水道インフラの老朽化対策について、視察研修を行いました。

新潟県湯沢町では、中山間地における稲作の現状や担い手確保に向けた取り組みについて研修した。地元の農業法人では、遊休農地の受け入れや小區画水田の分散による作業負担など、経営を継続する上での課題と現場の実情を伺った。

新潟県長岡市では、先進技術を活用した水道管路のDX化やデザインマンホールの取り組みを視察し、老朽化対策や人材不足への対応を確認した。今回の視察で学んだことを、今後の本市の取り組みに生かしていきたい。

生活・福祉常任委員会視察調査報告

認知症予防発信事業と一時保育事業

生活・福祉常任委員会では11月5日及び6日の日程で、認知症予防発信事業について及び一時保育事業について視察研修を行いました。

大阪府池田市では、認知症対策のために介護予防教室で、運動と認知課題を組み合わせる行う脳トレエクササイズを行っている。府の事業を使って効果検証を行った。今後、地域特有の課題を模索し、多様な試みを進めていく。

大阪府豊中市では、図書館での一時保育事業として、委託事業者から保育士を派遣し子どもを預かることで保護者が時間を有効に使える場を提供している。誰もが利用し、滞在しやすい図書館は、本市でも今後の参考となった。



池田市での視察の様子

令和7年第4回定例会の提出議案等と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第89号議案	令和7年度ふじみ野市一般会計補正予算(第4号)	可決	第99号議案	ふじみ野市立大井東中学校校舎大規模改造工事請負変更契約の締結について	可決
第90号議案	令和7年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	第100号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第91号議案	令和7年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	第101号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第93号議案	ふじみ野市手数料条例の一部を改正する条例	可決	第102号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第96号議案	ふじみ野市職員の給与に関する条例及びふじみ野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	第103号議案	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第97号議案	ふじみ野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	第104号議案	ふじみ野市立児童センターの指定管理者の指定について	可決
第98号議案	ふじみ野市立福岡中学校校舎D棟大規模改造工事請負変更契約の締結について	可決	第105号議案	令和7年度ふじみ野市一般会計補正予算(第5号)	可決

●賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会							自由清進の会					公明党		日本共産党	倉田さや	倉田まひ				
			野口一也	田中早苗	川島秀男	前田広子	鈴木宏樹	板倉篤	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	小林久美	坪田敏孝	近藤善則	原田雄一	鈴木啓太郎	古越孝子	鈴木美恵	川畑京子	床井紀範	塚越洋一	金濱高顕	民部佳代
議第2号議案	ふじみ野市議会基本条例の一部を改正する条例	否決	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
議第3号議案	ふじみ野市議会委員会条例の一部を改正する条例	否決	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
議第4号議案	ふじみ野市公文書管理条例	否決	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	退席	退席	×	×
第92号議案	ふじみ野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
第94号議案	ふじみ野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	退席	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	退席	○	
第95号議案	市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	退席	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
請願第3号	買い物クーポン券の支給を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	
議第5号議案	ふじみ野市財産評価委員会条例	否決	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	

※議長は採決に加わっていません。

生活・福祉常任委員会議会報告会

文京学院大学で意見交換会

11月10日、市議会との連携協定に基づき、生活・福祉常任委員会が議会報告会と子どもの居場所づくりをテーマに意見交換会を開催しました。人間学部児童発達学科で学ぶ文京学院大学の学生18名と教員、議員が参加しました。

学生の意見(抜粋)

子どもの居場所のテーマについて

- ・子どもの遊びが貧困化し、遊びの伝承が難しくなっている。
- ・放課後子ども教室では異年齢集団で遊ぶことができるが、人手不足や高齢化でボランティアが少ないと感じる。また、参加者全員で遊ぶので、大人になってから何で遊んでいたかなど、思い出づくりになる。

終了後の学生アンケートより

- ・貴重な意見を言う場の提供により、充実した会になった。
- ・意見を丁寧に聞いてもらい、有意義な時間となった。
- ・議員とのディスカッションで学びある時間となった。
- 12月2日、生活・福祉常任委員会では今回の振り返りを行い、学生の意見を生かしていくことや今後の議会報告会の開催方法などが話し合われました。

【訂正とお詫び】
前号の10ページの「●賛否が分かれた議案及び継続審査となった議案」に掲載した、床井紀範議員及び塚越洋一議員の賛否の表記について誤りがありました。深くお詫び申し上げます。次のとおり訂正いたします。
議案名：民部佳代議員の陳謝を求める動議
正：退席
誤：×（反対）



市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、14人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（2月中旬掲載予定）
各議員の二次元コードから、それぞれの一般質問の録画放映を視聴できます。



道路上のごみ収集の見直し
坪田 敏孝 議員



問 ボックス形ごみ収集設備について、段階的であつても移行する方針を定め、ボックスを設置する自治組織や関係者に補助金を支出する考えは。
答 形態の統一は困難なため、実施は予定していない。



路上でのごみ収集には景観・衛生など課題が

市自治基本条例の見直し

問 自治条例の先駆けとなつた北海道ニセコ町のまちづくり基本条例の基本原則には、「説明責任」

と題され、「企画立案、実施及び評価のそれぞれの過程において、その経過、内容、効果及び手続を町民に明らかに」とされている。説明責任の義務の文言を条例に明記する考えは。
答 市における他の条例との関係については、本条例との整合性を図ることとして、これから、改めて明記する考えは現在のところ予定していない。

倒木対策としての植栽

問 甚大な倒木被害に至らない低木など、倒木しにくい樹種の選定の考えは。
答 倒木しにくい樹種の選定や安全性の確保について既に検討しているが、市民からの様々な意見があり、苦慮している。



待ち合い時間に見てね

問 市防災情報ポータルサイトの周知は。
答 令和7年4月1日から市防災情報ポータルサイトを開始した。緊急情報、お知らせ機能、気象情報、避難所の開設状況等防災に関連する情報を提供している。

問 市ホームページ、市報や洪水及び地震ハザードマップへ掲載しているほか、大雨の注意喚起Fメールに、ポータルサイトのURLを掲載して防災情報の確認が可能である旨を周知している。
答 市民課等に設置して



市防災情報ポータルサイト
田中 早苗 議員



ある行政情報モニター等に、市防災情報ポータルサイトの案内を。
答 行政情報モニターに、案内情報を掲載し、QRコード等を用いることで、多くの市民にポータルサイトを知ってもらう良い機会になると考えている。

本市の下水道管きよ

問 老朽化した下水道管きよの対応と今後の課題は。
答 異常が確認された場合は、緊急度に応じて補修を実施し、陥没事故等を未然に防止していきたい。適切な維持管理と計画的な更新を進めていくため、引き続き対応していく。



グリーンインフラ推進
古越 孝子 議員



環境にやさしく、水害に強く

子ども若者の声の仕組みづくり

問 時間を問わず意見を発信できるオンライン環境の整備が必要と考えるが、意見を表明しやすい取り組みは。
答 デジタル環境の活用は有効と考えている。本市でもウェブアンケートなどを活用しているが、他自治体の事例を参考に意見収集の方法を研究していく。

若い世代の住宅支援

問 若い世代の定住に向けた住宅施策は。
答 市の将来構想やこども計画に基づき、市営や県営住宅の入居支援や情報提供などを行っている。国や他自治体の事例も参考に、新たな住宅支援策について調査研究していきたい。

問 現状の取り組みと今後の推進方針は。
答 自然の力を生かすグリーンインフラとして雨水をため地下に浸透させる施設や調整池を整備している。

水底土砂の除去、草刈り、ポンプ点検など適切に管理し、民間事業者への指導と併せ、水害に強いまちづくりを進める。



最新のトイレトレーラー

問 消防署、消防団、警察、自衛隊との連携は。

問 訓練の新たな取り組みは。
答 市医師会等の協力で行われた救護所のトリアージ訓練の映像を、システムを活用し災害対策本部内に共有する訓練を実施している。

また、新たに導入したトイレトレーラーの設置訓練を実施した。



市総合防災訓練の取り組み
野口 一也 議員



問 各防災関係機関において、災害対策本部運営訓練への参加のほか、防災備蓄品管理倉庫では、自衛隊と物資供給班が連帯した物資の搬出入訓練を実施した。

また、消防団での水消火器訓練や心肺蘇生法訓練、警察による道路啓開訓練等を実施した。

各機関の独自の無線設備等で通信を行っているが、市総合防災情報システムを活用し、市との被害情報等の共有方法について訓練を実施した。

問 市総合防災情報システムの特徴と活用は。
答 本庁舎災害対策室に電子作戦テーブル、6面大型モニター及び電子黒板を配置し、現場の状況が映像としてリアルタイムで本部等と共有することが可能となる。

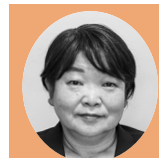


早期のがんも見逃さない

問 胃内視鏡検査・胃部X線検査の過去3年間の実績は。
答 胃内視鏡検査の受診者数2571人にに対しがん発見者数は11人、胃部X線検査は受診者数955人にに対し0人である。

問 胃内視鏡は検診期間が短く予約が取りにくい。受診しやすくできないか。
答 医師会の意見を聞きながら対策を検討する。

問 内視鏡で鎮静剤は使用できないか。
答 医師の説明を受け、リスクを理解し、自身の判断により自費で使用することは妨げない。



胃がん検診の効果と受診促進
民部 佳代 議員



大規模事業所との災害時の連携

問 市内には高圧ガスや化学物質を扱う事業所もある。災害や事故が起きれば市民生活に影響するが、市との連絡体制は。
答 自衛消防組織を設置している市内5事業所と直接連絡が取れる体制を確保している。

問 市総合防災訓練の参加は。
答 一部の事業所は参加している。今後も継続的に連携を強化する。

育休退園の見直し

問 育休中も上の子が保育を継続できるよう条件の見直しを。
答 今後の児童数の推移や保育所等の空き状況を見直した場合の影響などを分析し、引き続き検討を進める。



自転車交通 ルールの周知

鈴木 美恵 議員



自転車の交通安全教室

問 令和8年4月1日施行の自転車交通反則通告制度の周知は。

答 市報3月号での特集や市ホームページに掲載するなど、改正内容の情報提供に努める。

問 道路交通法の改正に基づき自転車の安全講習は。

答 警察での交通安全講習について、各自治組織の会長へ郵送で情報提供をしている。また、警察の協力のもと関係団体と連携し、交通反則通告制度に関する講習会の準備を進めている。

小・中学校の 英語教育の推進

問 タブレットの活用とA・L・Tの現状は。

答 タブレットを活用し、学習用デジタル教科書で発音チェックなどを行っている。A・L・Tは全小・中学校に配置し、授業だけでなくあらゆる学校生活の場で児童・生徒と関わり交流を深めている。A・L・T委託業務の中で外部講師とのオンライン英会話も可能となっている。

認知症介護者の 負担軽減

問 認知症ケア技法ユマニチュードの推進は。

答 令和7年度は市内の介護事業所や介護施設職員、介護サービス相談員を対象とした研修に取り入れている。

問 高齢者や自治組織との連携は。

答 警察が実施する20名以上の団体を対象とした交通安全教室があり、各自治組織の会長へ案内文を送付するなど、周知を図っている。

問 担い手不足をどう考え支援していくのか。

答 商店街空き店舗対策事業補助金、創業支援事業ステップアップ補助金の両補助金は併用が可能である。

問 街路灯の補助と今後の維持更新は。

答 撤去等に3分の1、LED化の経費の2分の1を補助している。10商店会の301基は平成26年度の設置で約11年経過している。

問 商店会に対してヒアリングを行い、街路灯更新が一時集中しないよう更新計画を立て計画的な修繕を実施する。



軽微な違反も青切符制度導入へ



自転車に青切符 導入を見越して

鈴木 宏樹 議員



地元商店の 振興と補助を

問 担い手不足をどう考え支援していくのか。

答 商店街空き店舗対策事業補助金、創業支援事業ステップアップ補助金の両補助金は併用が可能である。

問 街路灯の補助と今後の維持更新は。

答 撤去等に3分の1、LED化の経費の2分の1を補助している。10商店会の301基は平成26年度の設置で約11年経過している。

問 商店会に対してヒアリングを行い、街路灯更新が一時集中しないよう更新計画を立て計画的な修繕を実施する。



循環型社会 推進の取り組みを

前田 広子 議員



問 粗大ごみの排出量とえこらばでの家具や自転車の再生品販売の現状は。

答 毎年約1千トンの粗大ごみが排出されている。エコラボフェスタ、環境フェアでもリサイクル家具や修理して安全点検した自転車を販売している。

問 落ち葉、剪定枝を回収して資源化をしては。

答 落ち葉や剪定枝の資源化も含め、本市に適した循環型社会の実現化のため、情報収集を行い、環境施策の推進に努めている。

マンホール蓋の 利活用を

問 デザインマンホール蓋が設置されているが、マンホールコースターやマンホールカードを市内イベント等で配布して



合格祈願のマンホールコースター

問 受験生の応援と下水道事業のPRを兼ねて、合格祈願マンホールコースターを配布する。

問 マンホール蓋広告を市内企業や商店会等と連携して試行的導入をしては。

答 デザインマンホール蓋を通じPR活動を継続し、導入事例を参考に研究を継続していく。



人とペットが安心 して暮らせる社会

川畑 京子 議員



問 単身高齢者のペット飼育の現状把握は。

答 犬の登録件数から把握した飼育割合は、令和7年10月時点で約1・6%、世帯数では152世帯である。

問 75歳以上の一人暮らし高齢者や希望者を対象とした緊急時高齢者あんしん台帳にペットに関する項目を設けては。

答 前向きに検討し、万が一に備える重要性の啓発を進める。

問 ふじみ野市版ペットの防災手帳及び緊急カードを配布しては。

問 安心して図書館を利用できるよう、図書館内で一時保育を実施しては。

問 保育スペースの確保や運用の方法、利用者の要望や実施済み団体の状況を調査し、来館時の希望一時保育の検討を進める。

問 乳幼児を対象とした飲食可能なスペースの設置は。

問 離乳食等が必要とする乳幼児向け、上福岡図書館では授乳室、大井図書館ではキッズルーム等を利用することができ



地域に開かれた 特別支援学校へ

小林 久美 議員



問 建設予定の県立特別支援学校への市の関わりは。

答 市と県で調整会議を設け、設計やスケジュールを協議している。地域説明会の意見も県と共有し、施設の地域開放などを要望していく。

問 当事者や地域が対面やデジタルで意見を出す場を設けるべきでは。

答 今後も情報提供や意見交換について県と調整してみたいと考える。

問 建設予定の県立特別支援学校への市の関わりは。

答 市と県で調整会議を設け、設計やスケジュールを協議している。地域説明会の意見も県と共有し、施設の地域開放などを要望していく。

問 地域の人でも使用できる場を予定し、具体的な使い方は学校運営協議会などで検討する。

問 地域の人でも使用できる場を予定し、具体的な使い方は学校運営協議会などで検討する。

答 地域の人でも使用できる場を予定し、具体的な使い方は学校運営協議会などで検討する。

問 日本語が母語でない児童・生徒や保護者への支援は。

答 就学時健診や相談時に通訳を手配している。翻訳機は6校で導入済みで、購入予定の学校もある。

問 やさしい日本語や支援に関する研修の実施は。

答 勉強しながら対応している。

利用者に配慮した 図書館整備

問 子育て中の保護者が



市立上福岡図書館「おはなしのへや」

問 学校に行きづらい子どもが校内で安心して過ごせる居場所が必要で、先生や親ではないナナメの関係も大切では。

答 相談室などを地域の人との交流や居場所として活用している学校もある。

問 東原小学校に整備予定の多目的室の活用は。

答 令和11年度に休校の東台小学校を活用し、県が特別支援学校の開設を予定している。



市内循環ワゴンをもっと便利に



テレワークの推進を



部活動の地域展開の展望



交通利便性を高めることによる生活の質の向上、公共施設利用の利便性、地域経済への波及などの政策効果は。

利用者へのアンケート結果では、買い物、通院、公共施設の順に利用が多いことが確認された。

外出の機会が増え生活の質の向上による効果や、市の東西を結ぶEコースの新設により市の東西の一体性が高まる効果も出ている。

費用対効果を中長期的視点での投資とみるのか。

交通利便性が高まり、住みやすさが向上することから、定住化促進という観点からも投資であると考え。効果を検証しながら、更なる利便性向上に努め、コースとダイヤの見直しを図ることにより、持続可能な公

公共交通ネットワークの維持・存続を実現して行きたいと考えている。



利用者が増えているふじみん号

新しくできる市立博物館前に横断歩道を

信号機のある西消防署前から文京学院大学までの区間が長く、スピードが出ていて車が止まってくれない。横断歩道を設置できないか。住民から要望が寄せられ警察と相談してきた。市から警察署に要望している。

柔軟な働き方を実現すべく、全庁的な取り組みが必要では。

重複請求などの請求誤りや不適切な給付がないかを確認している。これらの取り組みを継続実施し、費用の効率化を図り、介護保険制度の健全かつ円滑な運営に努めていく。



私道下の私設管への対策を

法定耐用年数を迎えつつある私設管の更新に対し、一部の所有者が不明な場合など、当事者同士でどうにもならない状況が想定される。対策は。私設管について、寄附採納を受けているが、所有者が不明な場合などは受けられない。国の動向を確認し、他の市の情報収集をするともに、採納について研究していく。

持続可能な介護サービスを

介護サービスが必要なたに必要なた支援を過不足なく届けるためには、介護給付費の適正化を図ることも大切である。取り組みは。

スポーツ活動地域支援事業の実績は。

令和6年度は5種目で66回実施、延べ1834人が参加した。令和7年度は11月末までに34回実施、延べ848人が参加している。

地域連携に向けたガイドラインの策定及び関係機関や地域指導者等で構成する協議体の設置の考えは。

既に部活動の在り方に関する方針を策定しているが、今後地域連携についても明記する改訂を行う。また、現在関係者間で成果や課題を共有する協議体を検討する事前協議に向けて調整している。

ドローンで作業効率化を

本市業務における活用事例は。



様々な分野でドローンを活用

農業分野での活用促進に向けた取り組みは。

活用事例としては令和7年夏に稲作地域においてイネカメムシ防除のため農薬の広域散布が行われた。また、ドローン購入費用や水稻の広域防除に係る農薬代の一部補助も行っている。

請願不採択

買い物クーポン券の支給を求める請願

趣旨に賛同した市民574人の署名があり、市民1人に5000円の買い物クーポン券の支給を求める請願が市議会へ提出されました。審議の結果、賛成少数で不採択となりました。

市民・都市常任委員会での主な質疑

令和6年度決算で約24億円の黒字とされるが、市の財政状況は。

実質収支は約24億円の黒字だが、実質単年度収支は約5億8,600万円の黒字にとどまり、安定した余力がある状況ではない。

全市民に5,000円の買い物クーポン券を支給した場合の財源規模は。

事務費を含め約6億円規模となり、一般

財源のみでの実施は困難である。

基金を活用して市独自に実施する考えは。

財政調整基金は災害などに備える重要な財源であり、取り崩しは慎重に判断すべきである。

今後の物価高対策への対応は。

国の動向を見極め、市民生活の支援に加え、事業者支援も含めた効果的な対策を検討する。

主な反対意見

市民生活を支援する重要性は認識しているが、本請願で示される財源規模を踏まえると、現状の市財政では慎重な判断が必要である。物価高対策は市民や事業者の状況に応じた幅広い支援を検討すべきであり、国の方向性や支援規模を十分に確認することが重要である。その状況を踏まえずに基金の取り崩しは時期尚早である。なお、買い物クーポン券支給そのものを否定するものではなく、費用対効果を踏まえ、最も適切な支援が求められる。

主な賛成意見

長引く物価高は市民の暮らしに深刻な影響を与えており、市が主体的に市民生活を支えることは重要な役割である。全市民への買い物クーポン券支給は、家計の負担軽減に加え、地域経済の循環を促す効果も期待できる。財源についても、基金は市民のために活用すべきものであり、本市の財政状況や将来負担を踏まえれば実施は可能である。国の対応を待つだけでなく、市として早急に行動すべきである。

連載企画

子どもたちに聞きました

家族で産業まつりに来ていた小学生に、将来の夢や学校生活についてインタビューしました。

将来の夢やなりたい職業はありますか。

りつさん 生物学者になりたいです。生物の中でも哺乳類、人間に近い生物に興味があります。

つきさん 警察官になりたいです。(お父さんが「えっ？カッコいいなあ」とつぶやく)

あんさん ケーキ屋さんになりたいです。ケーキを作るのが楽しそうだから。家族で料理をすることもあります。

学校生活について、何かありますか。

りつさん 先生が丁寧に授業を教えてくれるので、とても分かりやすいです。

つきさん 友達と遊ぶことと、遠足が楽しみです。授業では、図工が好きです。

あんさん 図工と体育が好きです。



おざはら 律さん



ひろお 広尾 杏さん ひろお 広尾 紬希さん

子どもたちの夢とまちへの思い

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

バイク屋さん に伺いました

Q 整備士を始めたきっかけは何ですか。**A** 子どもの頃から二輪車が好きでした。将来は二輪車に携わる仕事がしたくて、専門学校を卒業後入社しました。**Q** お仕事の内容を教えてください。**A** 新車・中古車の販売、車検整備全般、保険販売がメインの仕事です。**Q** 仕事をされていて良かったことや辛かったことはどのようなことですか。**A** 良かったことは、不具合や故障を発見でき修理して返却時に喜んでもらえたことです。辛かったことは、車両を移動させる時に倒してしまったことです。**Q** どのような人が来店されますか。**A** コミューターと呼ばれる原付バイクの修理や点検がメインなので、地元に限らず年齢層関

係なく様々な人が来ます。

Q バイクのルールはどのように変わるのですか。**A** 本年 4 月より導入される新基準原付とは、125ccの技術を使いながら、排出ガス規制をクリアして原付自転車として使える次世代バイクです。**Q** 皆さんに一言お願いします。**A** 人間も定期的に健康診断を受けます。二輪車も同様に点検しないしていると大きな故障につながるので、定期的な点検をした方が良いと思います。特に空気圧のチェックは重要です。いしい なおと
石井 直人 さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映や SNS もご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



12月定例会の傍聴者は83人でした。

次の定例会の
開 会 予 定：2月20日 午前9:30～

市役所 4 階議場で開催します

請願締切予定：2月10日 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長 床井 紀範	副委員長 古越 孝子
委員 田中 早苗	委員 前田 広子
委員 鈴木 宏樹	委員 鈴木 美恵
委員 鈴木啓太郎	

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。

表紙の題字を書いてくれた人

大井西中学校 2年 ^{さくらい} 櫻井 ^{あやの} 彩乃さん

ふじみ野



私はふじみ野市の野菜が好きです。給食では、ふじみ野市で採れたほうれん草や里芋を使った料理がよく出てくるので、うれしいです。ふじみ野市の野菜のおいしさを、もっと広めていけたらいいなと思っています。

編集後記

令和 7 年第 4 回定例会では、一般会計をはじめとする各種補正予算や、学校施設の大規模改造工事の変更契約、道路線の認定、市立児童センターの指定管理者の指定など、議案について活発な質疑が行われました。

私たちの生活に直結する課題が山積する中、限られた財源でどのように未来への投資を進めるのか、慎重な議論が続いています。

市民の皆さんから寄せられる声は、議会にとって何よりの判断材料であり、より住みやすいまちふじみ野に必要不可欠です。

引き続き身近なご意見をいただき、共により良いまちづくりに取り組んでいきます。

(鈴木 宏樹)